

第3回（平成14年度）長崎自然共生フォーラム通常総会開催報告

去る4月25日（木）15:00から、長崎大学環境科学部大会議室にて、出席者44名（うち委任5名）で会員の過半数を得て、総会を開催し議事進行しました。
審議結果は下記のとおりです。

1. 平成13年度事業報告について

原案のとおり（承認）
会員状況（平成14年3月31日現在）
正会員 82名
団体会員 2社

2. 平成13年度決算報告

原案のとおり（承認）
なお、監事（鈴木 馨 氏）から処理は適正であった旨報告をうけた。

3. 役員の選任について

役員名簿（平成14・15年度）案により、会長 宮原和明氏（留任）・副会長 中島慶二氏（留任）・同 富永和博氏（新任）・監事 早瀬隆司氏（留任）・同 鈴木馨氏（留任）を選任した。

運営委員は、岩崎英喜、菅洋一、久保田美紀、武政剛弘、川里弘孝、中溝忠の各氏は留任、土橋康二 前副会長を新任することで承認された。

幹事は、岩永敏行（新）、大塚正則、鴨川弘治（新）、小嶋秋生、庄籠良一（新）、高藤修一、田雑豪裕（新）、為永一夫、田中省二、田平寿助、千々布義朗、松田英明（新）、真崎健次、山崎加代子、山本規仁、渡辺道明（新）の各氏にお願いすることが報告された（新任の方は了承済）。

4. 平成14年度事業計画（案）について

原案のとおり（承認）

5. 平成14年度予算（案）について

原案のとおり（承認）

6. その他

研究会のテーマとして、環境汚染（ダイオキシン）と造園業・ビオトープのあり方・チップパー（樹枝破砕機）農家（との）連携などの問題が提起された。

またメタノール法（循環型剪定生ゴミ処理）の講話を聞く、会員の声を反映することが強調された。

なお、第 12 回研究会（土橋委員担当）で、ビオトープ事業の事例報告をすることが決まった。

（規約により、会長が議長となり、議事はスムーズに進行した。16:10 から武政先生のスライド講演があり、興味深い北欧の風景が紹介された。懇親会は 17:30 から会長あいさつの後、富永氏の就任抱負と懇談があり、引き続き氏の明快な司会のもと 19:00 まで談笑した。最後に土橋氏の 1 本締めで締めくくり、後は長崎大学生に開放した。）

以上